

問1 顕微鏡で観察するとき、観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたもののことを何といいますか。

問2 1つの花にめしべとおしべが両方そろっている植物には、アサガオのほかにもどのような植物がありますか。

問3 ヘチマやカボチャ、コスモスなどのように、こん虫に花粉を運んでもらう特徴をもつ花を何と呼びますか。

問4 アサガオの花には、1本のめしべのまわりにおしべが何本ありますか。

問5 顕微鏡で低い倍率から高い倍率に対物レンズを切り替えるとき、回す部品の名前は何かですか。

問6 花粉がつきやすくなるように、手ざわりがべとべととしている、花のつくりはどこですか。

問7 花の咲く植物が、種子から芽が出て育ち、花が咲いて受粉し、実の中に新しい種子ができるという一連の過程をくり返すことを何といいますか。

問8 おばなという花には、どのような特徴がありますか。

問9 動物がおこなう「受精」は、植物のどのような働きと同じように、生命を受けついでいくためのものですか。

問10 おしべの先にあり、花粉がつくられる部分の名前は何かですか。

問11 接眼レンズの倍率が10倍で、対物レンズの倍率が40倍のとき、顕微鏡の全体の倍率は何倍になりますか。

問12 おしべの先にある「やく」という部分では、何がつくられますか。

問13 花が咲いたあとに、実ができるために必要なことは何かですか。

問14 顕微鏡でピントを合わせるとき、接眼レンズをのぞきながら対物レンズと観察するものを近づけてはいけないのはなぜですか。

問15 花のつくりの中で、黄色い花粉がたくさんついていて、手でさわるとさらさらしている部分はどこですか。

問16 花粉がおもに風によって運ばれる植物の組み合わせは何ですか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え プレパラート	観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたものをプレパラートといいます。
問2	答え アブラナやユリ	1つの花にめしべとおしべが両方そろっている植物には、アサガオのほかにアブラナやユリなどがあります。
問3	答え 虫に花粉が運ばれる花	ヘチマやカボチャ、コスモスなどは、こん虫に花粉を運んでもらう「虫に花粉が運ばれる花」の仲間です。
問4	答え 5本	アサガオの花には、1本のめしべのまわりに5本のおしべがあります。
問5	答え レボルバー	対物レンズを切り替えるときは、レンズを直接触るのではなく、レボルバーという部品を回して倍率を変えます。
問6	答え めしべの先	めしべの先は、手ざわりがべとべととしていて、花粉がつきやすくなっています。
問7	答え 植物の生命のつながり	花の咲く植物は、発芽、成長、開花、受粉、そして実と種子ができるという過程をくり返すことで、生命を次の世代へとつないでいきます。
問8	答え おしべだけがあって、めしべがない。	おぼなほ、おしべだけがある花のことなので、めしべはありません。
問9	答え 受粉	動物の受精は、植物の花粉がめしべにつく「受粉」と同じように、次の世代へと生命を受けついでいくための大切な働きです。
問10	答え やく	おしべの先にある、花粉がつくられる部分を「やく」といいます。
問11	答え 400倍	全体の倍率は「接眼レンズの倍率（10倍）」に「対物レンズの倍率（40倍）」をかけ算するため、 10×40 で400倍になります。
問12	答え 花粉	やくは、おしべの先にあつて花粉をつくる大切な部分です。
問13	答え めしべの先に花粉がつくこと	花が咲いたあとに実ができるためには、めしべの先に花粉がつくこと（受粉）が必要です。
問14	答え 対物レンズと観察するものがぶつかるのを防ぐため	のぞきながら近づけると、対物レンズと観察するものがぶつかるのでレンズやプレパラートが壊れてしまうのを防ぐためです。
問15	答え おしべの先	おしべの先には、黄色い花粉がたくさんついていて、手ざわりはさらさらしています。
問16	答え トウモロコシやマツ	トウモロコシやマツは、虫などに頼らず、おもに風（たよら）の力で花粉を運ぶ植物です。